

2023 (令和5年) 1/31 火曜日

# 小学生新聞

MAINICHI

発行所 毎日新聞東京本社 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

配達お問い合わせ 購読お申し込み

0120-468-012 (6-21時、一部地域は平日10-18時)

定価 1か月1750円(本体1620円、消費税130円)・1部70円



毎日小学生新聞編集部  
郵便 〒100-8051 (住所不要)  
ファクス 03-3212-2591 電話03-3212-0321  
メール maishou@mainichi.co.jp

## 埋まるか？謎の4世紀

### 国宝級の銅鏡と剣を発見



▲出土した蛇行剣。中ほどの三角形に見える部分は、盾形銅鏡の一部。奈良市教委提供



▲出土した龍文盾形銅鏡

「今までに見たことがないような国宝級で、教科書に載るレベルの宝物が出てきた」。奈良市にある円形の古墳から、出土例がないような盾形の銅鏡と波打つような長い鉄剣が見つかりました。専門家は、当時の鉄器生産の技術力の高さや文化を示す貴重な資料になると話しています。

【長尾真希子】

「お宝」が見つかったのは、4世紀後半に造られた国内最大の円墳の富雄丸山古墳(直径109メートル)です。奈良市教育委員会が昨年10月から、古墳の端の部分を開発したところ、ひとつを覆っていた粘土の中から青銅の鏡と鉄の剣が重なって見つかりました。

盾のような形の銅鏡は長さ64センチ、幅31センチ。円を描

くように神獣の像が描かれ、のぎりの歯のような精密な文様があしらわれています。名付けられ、鏡は光を、盾は敵をはね返す「魔よけ」の意味があると考えられています。

蛇のように曲がりくねった「蛇行剣」と呼ばれる鉄製の剣は、長さ2メートル37センチ。古墳時代の鉄剣として東アジア最長、蛇行剣としては国内

最古です。奈良市埋蔵文化財調査センターの鐘方正樹所長は「どちらも国産品とみられており、この時代に日本独自の文化が発展し、鉄器生産の技術が高かったことを示す重要な資料です」と話します。

「古墳時代は歴史書が作られていない時代なので『謎の4世紀』と呼ばれています。当時の物が出てくることで空白の歴史を埋めることができるのでは」と期待します。

気になるのは、古墳に葬られていた人物です。「大臣級」と推測するのは、発掘作業をした同センター学芸員の村瀬陸さんです。「このエリアは、近くにヤマト王権の王墓があり、ヤマトへの入り口だったことから、今という『国土交通大臣』クラスだったのでは」と予想します。

史跡への指定に向けた調査を進めていたところ、突然発掘された「国宝級」のお宝。鐘方所長は「古代の人が作った未知のモノがまだ奈良には埋まっています。小学生の皆さんには、悠久のロマンを感じながら、好奇心や探究心を持って、未知なるモノへの関心を持ってほしい」と話します。

きょうの紙面



のひみつきち  
のひとみまもくるま  
乗る人見守る車  
6面

3面に  
6さいからの  
ニュース

あなたらしく 2面

ゆったり注文

転生魔王のネット戦略 8面

マオウ神妙!?



保護者にお知らせ  
「毎小メール」

登録は▲こちら



蛇行剣と盾形銅鏡が出土した当時の様子を原寸大のパネルで再現